

就農に向けた みちすじ -畜産の概要について-



畜産とは？

家畜を飼養して、肉や乳、卵などを
生産する産業のこと

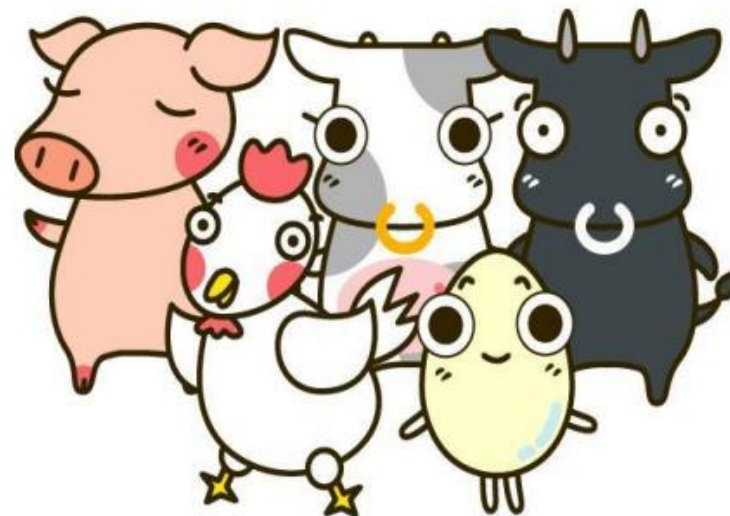
家畜の種類

○県内で飼養されている主な家畜

- ・牛（乳用牛、肉用牛）
- ・豚
- ・鶏（採卵鶏、肉用鶏）
- ・蜜蜂

※上記以外の家畜の種類

- ・馬、めん羊、山羊
- ・あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥



乳用牛の種類

- ・ 雌牛から、飲用牛乳やバター、チーズ、ヨーグルトなどの乳製品を生産するための「生乳(せいによう)」を搾乳。
- ・ 経産牛(子供を産んだことがある牛)1頭当たり年間約8,000kg(昭和40年約4,300kg)の生乳を生産、平均搾乳期間は360日程度。

注:生産物である生乳は、リットルなどではなくキログラムやトンで数える。

ホルスタイン種

雄牛



典型的な乳用牛であり、我が国で飼養されている乳用牛の99%以上がホルスタイン種。その数は約150万頭。もちろん人間同様、子供を産まないと乳は出ない。

「種雄牛(しゅゆうぎゅう)」と言い、雌に種付けするための精液を採取するための雄牛。精液販売の専門業者など、限られたところでしか飼養されていないため、めったに見る機会はない。

雌牛



写真提供: (社)全国肉用牛振興基金協会

ジャージー種



写真提供: (社)中央畜産会

我が国ではホルスタイン種の次に頭数が多く、その数は約1万頭。ホルスタイン種に比べ、乳量は少ないが、乳脂率が高いという特徴がある。主に岡山県の蒜山高原などで飼養されている。

ブラウンスイス種



写真提供: (社)中央畜産会

我が国ではホルスタイン種、ジャージー種の次に頭数が多く、その数は1千頭強。ホルスタイン種に比べ、乳量は少ないが、乳タンパク率が高くてチーズ加工に適し、足腰が強く放牧に向いている。主に北海道、九州などで飼養されている。

肉用牛の種類

- ・ 肉用牛には3種の区分があり、それぞれ「肉専用種」「乳用種」「交雑種(F1)」と呼ばれている。
- ・ 「肉専用種」は牛肉を生産する目的で改良された牛。「乳用種」は酪農経営の副産物である雄牛で、牛肉生産向けに肥育(ひくい)されている牛。「交雑種」は乳用種の雌牛と肉専用種の雄牛を交配して生産される牛で、乳用種よりも脂肪交雑(サシ)が入りやすい。

和牛 (4 品種)



黒毛和種

- 在来牛にブラウンスイス種等を交配して改良が進められた品種。
- 被毛色は黒褐色単色。和牛全体の約97%を占め、肉質は特に脂肪交雑(いわゆる「サシ」)の面で優れる。



褐毛和種

- 熊本県と高知県で飼われていた朝鮮牛を基礎とした在来牛にシンメンタール種等を交配して改良が進められた品種。
- 被毛色は黄褐色から赤褐色。耐暑性に優れ、粗飼料利用性も高い。主産県は熊本県及び高知県。



日本短角種

- 東北地方北部で飼われていた南部牛にショートホーン種を交配して改良が進められた品種。
- 被毛色は濃褐色。耐寒性に優れ、粗飼料利用性も高い。主産県は岩手県。



無角和種

- 在来牛にアバディーンアンガス種を交配して改良が進められた品種。
- 被毛色は黒色で黒毛和種より黒味が強い。粗飼料利用性が高い。主産県は山口県。

この他、外国種(アンガス、ヘレフォードなど)も

肉専用種

乳用種



ホルスタイン種 (♂)

- 酪農経営の副産物である雄牛を肥育。肉質の点で輸入牛肉と競合。

※「乳用種」、「交雑種」の子牛は酪農経営で生産される。

交雑種(F1)



黒毛和種(♂) × ホルスタイン種(♀)

- 乳用種の雌牛に、肉質向上を目的として、肉専用種である黒毛和種の雄牛を交配し生産。

写真提供：(一社) 全国肉用牛振興基金協会
乳用種は(公社) 中央畜産会

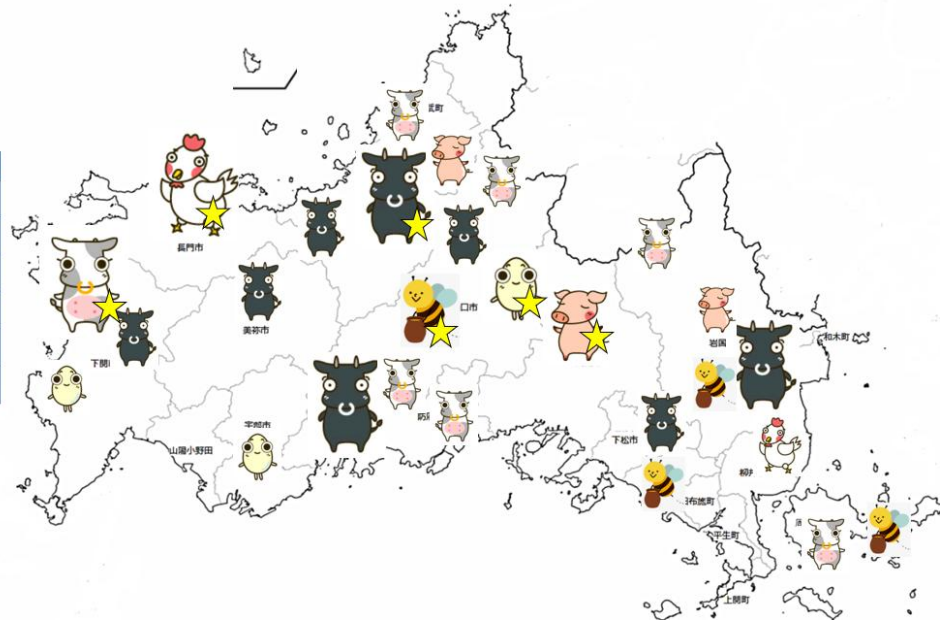
山口県の産地・品目



山口県の飼養状況及び農業産出額

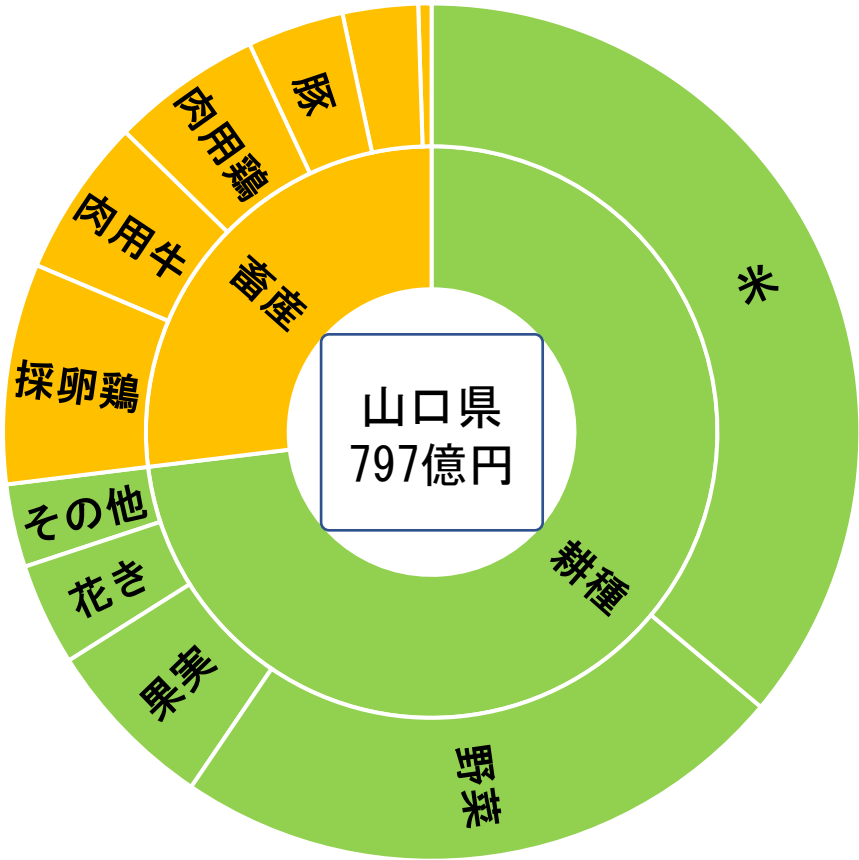
★県内シェア1位

乳牛	下関市
肉用牛	萩市
豚	周南市
採卵鶏	山口市
肉用鶏	長門市
養蜂	山口市



畜種	戸数	頭羽数	生産量	産出額	全国順位
乳用牛	41	2,256頭	14798.6t	22億円	40位
肉用牛	296	12,630頭	6,641頭	47億円	34位
豚	8	30,123頭	77,041頭	29億円	34位
採卵鶏	24	1,772千羽	23,015t	65億円	26位
肉用鶏	42	1,253千羽	7,191千羽	45億円	18位
蜜蜂	336	4,354群			

R 6 年山口県農業産出額



出展：畜産調査表（令和 8 年 2 月 1 日現在）、令和 6 年生産農業所得統計

山口県畜産の主な特産



やまぐち和牛 燦

～山口県産和牛ブランド推進協議会～

一定の基準をクリアした高品質な山口県産和牛肉のブランドとして、令和2年12月に誕生。

定
義

- ◆牛肉生産を目的に飼育された黒毛和種の牛肉
- ◆最終肥育地及び全飼育期間の1/2以上が県内
- ◆日本食肉格付協会による格付が肉質等級4以上

その他山口県内で飼養されている牛



無角和種



見島牛

山口県畜産の主な特産

やまぐちブランド登録商品（長州黒かしわ）

1. 天然記念物「黒柏鶏（くろかしわ）」の雄と在来種等の交配により作出された地鶏
2. 在来種血液百分率：75%以上（地鶏基準：50%）、飼育期間：80日以上、飼育方法：28日以降平飼い、飼育密度：10羽／m²以下



長州黒かしわ

山口県畜産の主な特産

やまぐちブランド登録商品（牛乳）

1. 県産生乳を100%使用し、成分無調整であること。
2. 無脂乳固形分8.5%以上、乳脂肪分3.5%以上であること。

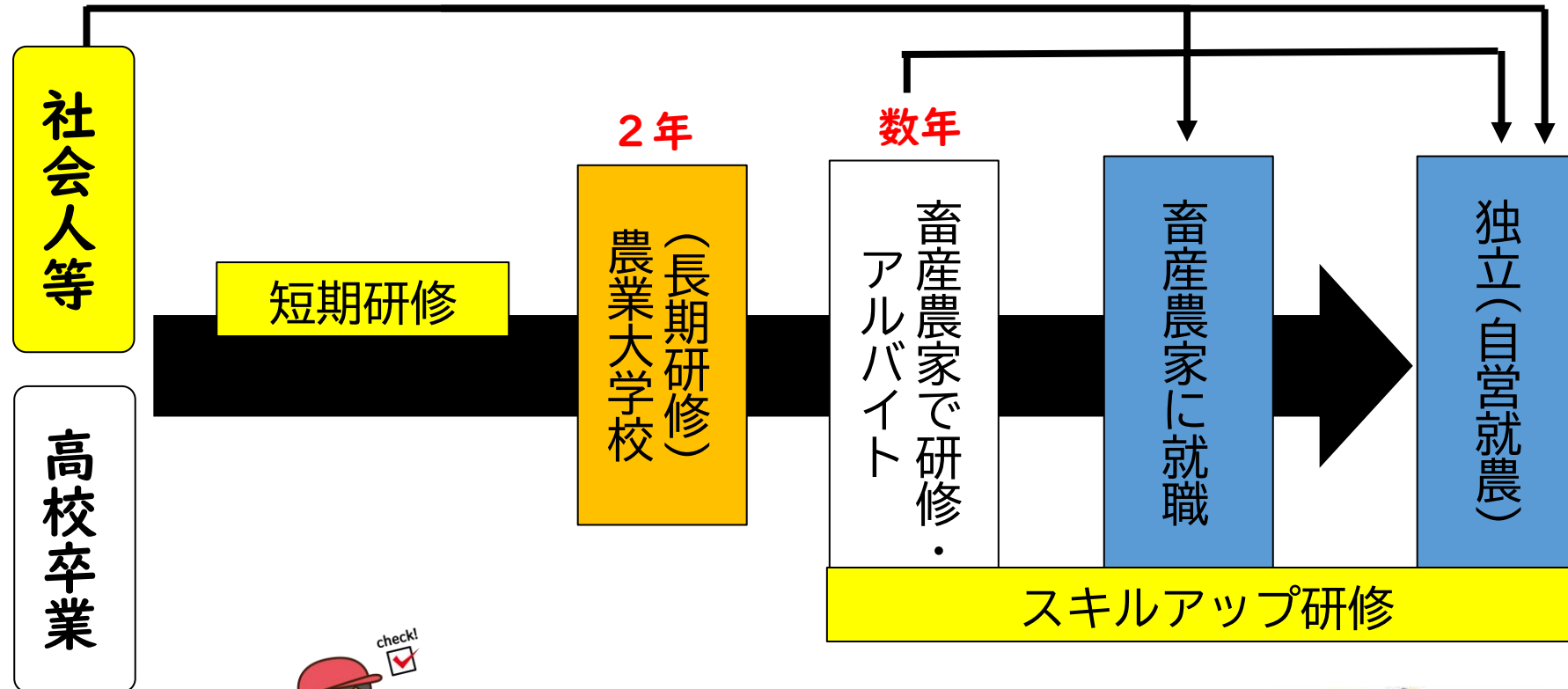
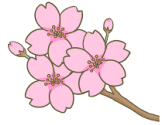


やまぐちきらら牛乳

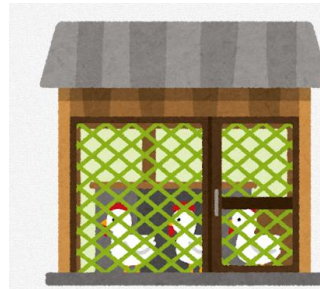
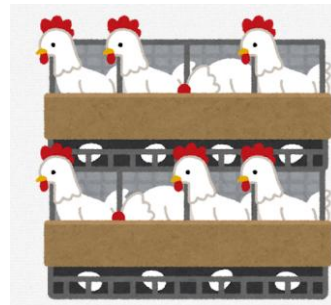


防酪特選牛乳

山口県畜産における就農までの主な流れ



© 2020 Japan Dairy Council

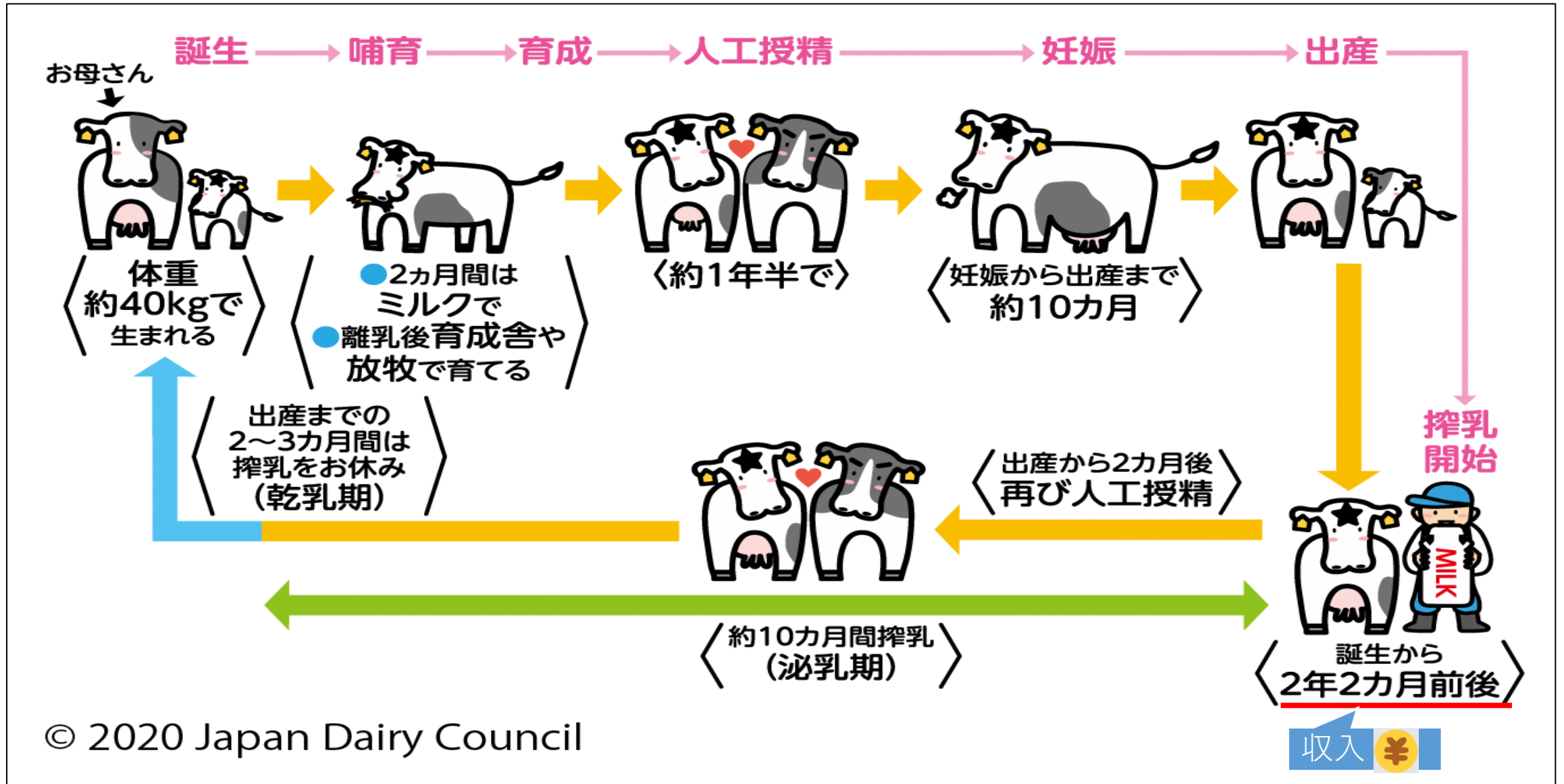


近年の畜産経営への参入事例

- ①酪農ヘルパーを経て自営就農（酪農）
- ②集約した地域の耕作放棄地等を放牧利用した法人設立（繁殖経営）
- ③農業法人が肉用牛部門を新設し経営を多角化（一貫経営）



乳用牛のライフサイクル



出典：（一社）中央酪農会議

肉用牛～繁殖から肥育まで～



豚の繁殖・肥育

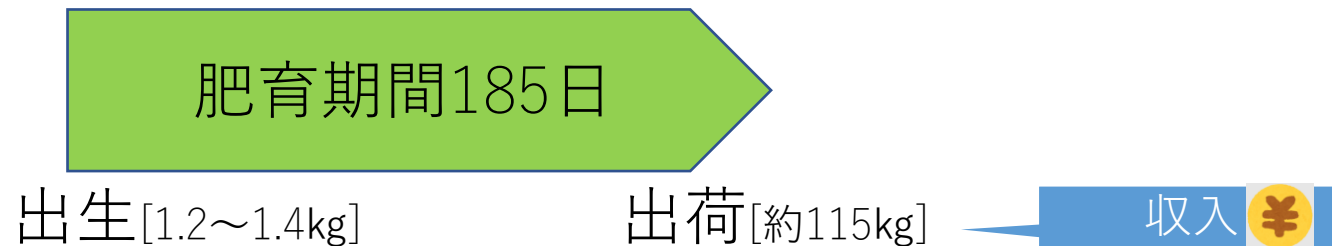
○繁殖豚



< 主な特徴 >

- ・ 出産は 1 回に約10頭
- ・ 1 年間に約2.2回の出産
- ・ 年間の離乳頭数は約22頭

○肥育豚

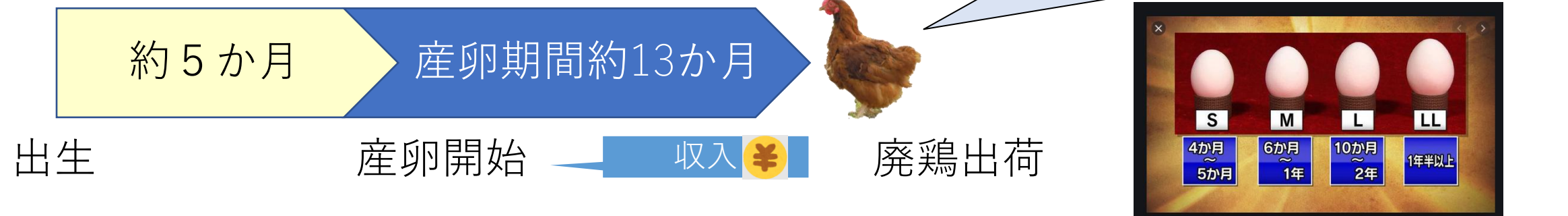


< 主な特徴 >

- ・ 国内流通の多くの豚肉は三元豚（3品種の掛け合わせ）
- ※「黒豚」はバークシャー種

鶏卵・鶏肉

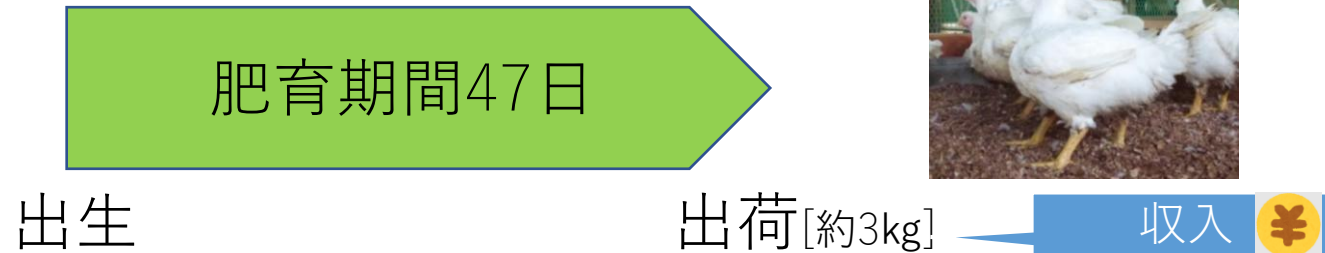
○採卵鶏〔一例〕



<主な特徴>

- ・産卵率は約90% ・鶏卵重量約62g(M玉サイズ) ・国内鶏卵自給率96%(R4)

○肉用鶏



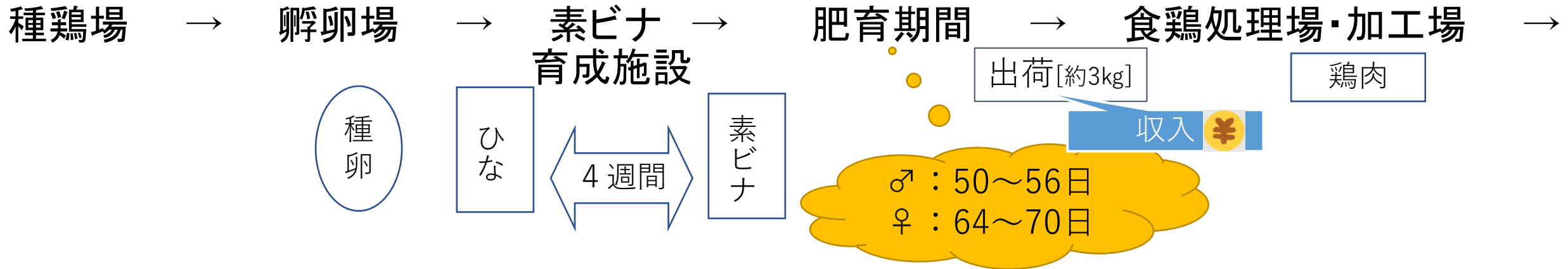
<主な特徴>

- ・一般に流通している鶏肉はブロイラー（他には銘柄鶏、地鶏）
- ・地鶏は飼育期間75日以上、在来種由来血液量50%以上等の基準あり

鶏肉（地鶏）

「長州黒かしわ」の場合

生育期間 ♂約84日（12週齢）、♀約98日（14週齢）



... → (流通) → 長州黒かしわ取扱店

